

アメリカ文化論 I

科目ナンバリング AMS-101
選択 2単位

田嶋 英治

1. 授業の概要(ねらい)

本講座ではアメリカ文化を学習する際に、英語を読んだり聞いたりするので「英語力は必須」です。文化の定義は様々あり、それゆえ「アメリカ文化」という時、いろいろな視点からとらえることができます。承知のようにアメリカは、多民族国家であり、これが「アメリカ文化とは何か」ととらえることの難しさの一面にもなっています。例えば広い意味で言えば、文化に関連する問題は、人種問題、宗教に関わる文化的問題から大衆文化まで様々です。本講座では日本にも大きな影響を与えてきた、アメリカの文化や社会について資料映像や、テキストの英語の資料を通し個人で考えたり、グループワーク等でディスカッションを行い考察、概観します。

2. 授業の到達目標

①アメリカ文化に関わる諸問題を学習し、アメリカについて興味をもち基本的知識を身につけること。特に日米の比較文化的な視点からも「アメリカ文化とは何か」について考え、将来においてグローバルな視点で物事を考えられるようになること。

②将来、教員として英語教育に携わる予定のある人、アメリカ留学の予定のある人、ビジネス等でアメリカと関わる予定のある人等は、各人の目標に達成に向けた「アメリカ文化」の知識を身につけること。

3. 成績評価の方法および基準

①平常点(出席率及び積極的な授業参加、及び課題等)50% ②定期試験 50%、等で総合的に評価します。
(注意)特に出席率は評価に大きな影響があります。また出席(遅刻を含む)、試験及び提出物等、上記の各項目の中に1つでも極度に悪い状況がある場合、それだけで履修が認められないことがあります。携帯電話の厳禁。授業中の居眠りの厳禁。詳細は授業でお知らせいたします。

4. 教科書・参考文献

教科書

笹田直人、野田研一、山里勝己 アメリカ文化55のキーワード ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

アメリカ文化に関連するテーマの課題についてのレポート、発表、ディスカッションのために十分な準備をしてください。また定期試験も広範囲となるので、テキストや配布されたハンドアウトを自ら熟読、勉強し努力してください。

6. その他履修上の注意事項

授業のシラバスや課題レポートは必要に応じて調整されますが、詳細は授業でお伝えします。(授業中の私語、携帯の使用、睡眠、内職、飲食等の授業と関係のないことは厳禁します。逸脱行為は評価に影響します。)

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 アメリカの地域と生活。
ニューヨーク、ニューオリンズ等について。
- 【第3回】 アメリカにおける少数民族と人種問題。
アメリカ文化における民族問題。アイルランド民族を中心して。
白人至上主義について。
- 【第4回】 アメリカにおける少数民族と人種問題。
黒人、先住民、ユダヤ系アメリカ人、日系アメリカ人等。
- 【第5回】 異文化について。
楽園の探求と異文化摩擦について。
- 【第6回】 アメリカにおける思想。
マッカーシズム、未来観、独立精神について。
- 【第7回】 アメリカにおけるキリスト教。
- 【第8回】 アメリカにおける法律と政治。
- 【第9回】 アメリカにおける犯罪問題。
テロリズム、レイプの実態、銃社会について。
- 【第10回】 アメリカと戦争。
アメリカの軍隊。
- 【第11回】 アメリカにおける家族問題。
親子関係、育児、離婚について。
- 【第12回】 アメリカにおける男性の自立と女性の解放、フェミニズム運動の問題、
女性の中絶論争について。
- 【第13回】 内容理解確認。
- 【第14回】 アメリカにおけるコミュニケーション。
コミュニケーション、自己主張について。
- 【第15回】 アメリカの若者文化。
ジーンズとTシャツについて。